阪神高速グループビジョン 2030 実現イメージ・実現に向けた取り組み	研究・技術開発　戦略テーマ
情報通信技術（ICT）の活用等による逆走・誤進入対策の実施	● 情報通信技術を活用した交通安全対策・渋滞対策手法の開発
自動運転車に対応した新しい交通運用	● 自動運転車に対応した交通運用手法の研究
プローブ交通情報等を活用した交通制御による交通事故・渋滞の削減	● プローブ交通情報等を活用した交通管制（情報収集・情報処理・情報提供）の高度化研究
人工知能（AI）を活用した交通制御の高度	● 人工知能（AI）を活用した交通管制（情報処理）の研究
ジョイントレス技術による高速道路の短区間ジョイントの解消	● ジョイントレス構造の開発
長期にわたって構造物・施設の使用が可能となる長寿命化技術や施工法の開発	● 防食・塗装・表面保護の寿命・耐久性の向上 ● 鋼構造物の寿命・疲労耐久性の向上 ● コンクリート構造物の寿命・耐久性の向上 ● 橋梁付属物・舗装・床版防水の寿命・耐久性の向上
社会インフラを永続的に使い続けていくためのアセットマネジメントの確立	● アセットマネジメントのさらなる合理化・効率化
IoT、3 次元モデル（CIM）、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化	● 鋼・コンクリート構造の調査・点検技術の開発 ● 土工部・トンネル部の維持管理の高度化 ● IoT・CIM・ロボットの活用
	● ICT，AI 等を活用した設備の更新周期最適化・長寿命化 ● ICT，AI 等を活用した維持管理の更なる効率化，高度化
地域インフラにも活用できる災害対応技術や点検・非破壊検査等の技術の開発	● コンクリート構造物の非破壊検査技術と性能評価 ● 鋼構造物の非破壊検査技術と性能評価方法の確立 ● 舗装・床版防水の性能評価方法の確立
地震・津波等の災害時でも地域のライフラインとして機能することを目指した防災・減災対策	● 地震被害予測と迅速な機能復旧の手法構築 ● 構造物の耐震性能評価・減災技術の開発 ● BCP への反映
ICT 機器と連携した避難誘導方法や交通制御手法の確立 災害時に必要となる情報を豊富にかつ確実に提供	● 災害に強い道路交通管理システムの構築
お客様のより安全・安心・快適な利用のための情報提供・広報展開	● モバイル端末等による情報提供の高度化 ● 道路案内（案内標識・路面標示の最適化）
走行音・振動の少ない環境負荷軽減を目指した舗装等の技術開発	● 低騒音・低振動の舗装等の開発
都市高速道路の建設・管理の経験を活かした新規路線建設及び大規模更新事業に係る技術の開発・活用	● 長大橋の革新的な設計・施工技術の開発 ● 一般高架橋の革新的な設計・施工技術の開発 ● トンネルの革新的な設計・施工技術の開発 ● 大規模修繕・更新事業に関する設計・施工技術の開発
周辺環境に配慮した低騒音補修工法の開発	● 都市内における維持、修繕、更新技術の開発
先進技術の導入による建設・管理における使用エネルギーの削減、廃棄物の低減、リサイクルの促進	● 温室効果ガスの排出抑制 ● ヒートアイランド対策 ● 都市づくりの橋デザイン
地震・津波等の災害時でも地域のライフラインとして機能することを目指した防災・減災対策	● 電力基盤の更なる信頼性向上